

### 秋のハイキング

春夏秋冬4回の山登りで健康を維持する活動を行っています。昨年はコロナ対策として、マスク励行、歩行間隔2m維持、山小屋回避、下山後温浴無し等、密を避け、安全に留意し、軽い登山を2回のみ行いました。10月14日は日光半月山への日帰りハイキング。男体山の展望台として知られた山ですが、紅葉の中わず



日光半月山

かに中禅寺湖の湖面が見える眺望に留まりました。11月25日は宝篋山への日帰りハイキング。筑波山を南側から見て右方向の山で、可愛い滝が散在する山です。小雨模様の1日でした。2つの山とも天候に恵まれませんでした。それでも「山はいいなあ、体も心もリフレッシュできる」というのが参加者の感慨です。

69年法卒 大作公夫



宝篋山

## この秋冬も熱い戦いが繰り広げられました

編集部

### 秋の早慶戦 奇跡の逆転弾でV

東京六大学野球の秋のリーグ戦、最終週の早稲田大と慶応大の2回戦は1位の早稲田大が勝つか引き分けて優勝、2位の慶応大は勝てば優勝という一戦となり、神宮球場には1万2000人の観客が訪れた。早稲田大は1点を追う9回表2アウトからヒットでランナーを出し、前

日に決勝ホームランを打っている8番の2年生蛭間拓哉選手が、2試合連続のホームランとなるツーランを打って土壇場で逆転した。そのウラは楽天から1位指名された早川隆久投手が得点を与えず、早稲田大が3対2で勝って10シーズンぶりの優勝を決めた。

早稲田大の優勝は46回目で通算の優勝回数では法政大に並び、リーグ最多となる。

### 第97回箱根駅伝 シード権確保

第97回箱根駅伝は、駒沢大が戦後最大の逆転劇で創価大を振り切り、7度目の優勝を飾った。3位以内が目標の早稲田大は往路で11位に沈み、シード権獲得すら危ぶまれる状況に陥ったが、熾烈な戦いを繰り広げ、着実に順位を上げ総合6位、見事シード権を勝ち取った。1年生北村選手の青学との熾烈な争い、唯一の4年

生穴倉選手の区間8位のラストラン、来期の主将千明選手の区間5位の好走、小指選手の区間4位の力走、山口選手の最後の直線での見事なスパート、早稲田魂を心地よく感じ、高揚感が高まる復路であった。来年はメンバー10人中9人が残る。更に力をつけた『臍脂のサムライ』たちが、箱根路に戻ってくる日を楽しみに待ちたい。

### 第57回全国大学ラグビー選手権 2連覇ならず

ラグビー全国大学選手権は1月11日、コロナの緊急事態宣言の中、国立競技場で早稲田大-天理大の決勝が行われ、天理大が55-28で勝ち、関西勢として同志社大以来、36大会ぶりに頂点に立った。天理大は前回大会で完敗した早稲田大に前半29-7とリード、後半4

トライを追加し雪辱を果たした。2連覇を狙った早稲田大は前半22点差をつけられ、後半3トライを奪うなど21点を挙げたが及ばなかった。相良監督は「天理大が素晴らしかったの一言に尽きる。選手はやりきったと思うが、天理大の圧力で自分たちの力を出させてもらえなかった。悔しさを来年以降につなげてまた頑張りたい」と語った。

## 流山稲門会設立20周年事業

来年(2022年)、流山稲門会は設立20周年を迎えます。これを祝し、ご尽力くださった皆様への感謝と活動活発化への熱い思いをもって、20周年記念事業を挙行します。期日は2022年3月で、当日は第20回総会も開催します。会場はホテルルミエールグランデとスターツおおたかの森ホールです。大学や近隣稲門会などから来賓をお招きし、盛大に催したいと思っています。

ホールでの音楽イベントは、市民の皆様にも楽しんでいただければと願っています。ホテルでの記念式典・懇親会は、賑やかで楽しい宴でお開きを迎えることとなります。今から13カ月後、コロナ禍を乗り越え、会員の皆さんと喜びを分かち合うその日が迎えられることを確信し準備を進めてまいります。

72年法卒 企画委員長 渡辺省三

# 流山稲門会会報

発行責任者 会長 高橋孝志  
電話 080-5180-0982  
流山稲門会 ブログ LINK→  
<http://tnagareyam.exblog.jp>  
入会希望の方は「流山稲門会のご紹介」をご参照下さい。



## 流山稲門会会員の皆様へ

寒い日が続きますが、コロナ禍の中いかがお過ごしでしょうか？昨年は春の総会と秋の交流パーティの中止を余儀なくされました。更に昨年10月大学校友会本部から本年3月末までの稲門会活動の自粛要請を受け、残念ながら今年の第19回総会も開催を断念致します。総会の議案等は昨年同様郵送にて対応させていただきます。

会報の発行は継続できましたが、三密を避けるため役員会の開催もままならない状況です。早くこの騒動が収束し、皆様と顔を合わせ談笑する機会が来ることを願っております。令和4年の総会は20周年の区切りで、企画委員会が鋭意様々な催しを考えておりますので楽しみにお待ちしております。78年商卒 会長 高橋孝志

## 特集 私のコロナ生活

今号は、コロナ禍の中、大きく変化したこと、頑張ったこと、苦労したこと等、皆様がどのように過ごされたかについて特集させていただきました。制約の多い生活を余儀なくされた方が多いと思いますが、勤めて

いる方や退職された方、また、流山稲門会がささやかながら継続支援している SAVE IWATE 紡ぎ組岩崎様のお嬢様(早稲田大新入生)にもご寄稿いただきました。「私のコロナ生活」是非お読み下さい。

### 動画編集にはまる

大学では鉄道研究会に所属していたこともあり、年に何回か乗り鉄や撮り鉄を楽しんできました。今年はコロナのお蔭で出掛けられなくなり、昔撮影した写真をアルバムにしたりしていましたが、動画編集にもチャレンジしてみました。趣味のNゲージや過去に撮影した孫や鉄道素材を使って動画を作っているうちに、今では完全にはまってしまいパソコンも動画作成に耐えられる機種に買い替えました。

QRコードから動画をご覧ください。1本目は我が家の鉄道模型の走行動画です。ピントが合わないところもありカメラワークも未熟ですね。2本目は3年前の冬に東武鉄道のS L大樹を撮影したものです。コロナが落ち着いたらまた行ってみたいです。当面は孫の動画編集で腕を磨きたいと思っています。72年理工卒 稲垣 滋



### 在宅勤務の営業活動

つい半年前まで毎日満員電車で揺られて都内に通っていたのに、週一の出社が億劫に感じる今日この頃、慣れとは恐ろしいものです。電機業界なので、ビフォーコロナから1人1台PCを持たされていて、在宅勤務もそれほど違和感なく始められましたが、腰の痛みに耐えかねて早々に座椅子を購入しました。営業職としてはお会いできないのがしんどい。商談は全てオンライン会議、初対面から画面越しも珍しくなく、人脈構

築が難しい。平場の会議が終わってからの雑談が勝負、みたいな昭和な戦術が使えません。接待も飲みニケーションもすっかり影を潜めました。その分、短い時間でも頻りに連絡を取る、オンライン会議では相手の発言を根気良く聞く、発言の無い方にも水を向けてみる、など心掛けてます。しかし、人と人との関係作りにはやはり対面に勝るものなし。何より稲門会飲み会をできないのは非常に寂しい限りです。再開できる日を心待ちにしております。96年政経卒 池田健二



### 孫の世話に奮闘

私のコロナ生活は、野田市に住む孫の世話で多忙な暮らしを強いられました。孫の親(娘夫婦)は小学校の教員で、休校中の生徒への課題提示、親との緊密な連絡、新たな学習素材の整備、各種通達の対応等に忙殺され、コロナ以前より一層日々時間に追われる毎日でした。孫は、小4と小1、「3月3日から3月13日まで

休校」との簡単な連絡から始まり、結局5月31日まで長期休校、6月1日に週1回1時間登校が始まり、徐々に登校時間が増え、6月22日に漸く通常に戻りました。休校中は外出自粛(学校指導)の孫のもとに通う生活で、頻りに家庭訪問の対応や、送迎バスが休止となった習い事への送り迎え等、変則的な事態に四苦八苦する生活が長く続きました。早く落ち着いた生活に戻りたいものです。75年理工卒 清水雄司